

令和6年度 山形市立第四中学校 技術・家庭科技術分野 年間指導計画

		4月			5月			6月			7-8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月														
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35										
第1学年	題材	ガイダンス			D(1)アイ						B(1)アイ						B(2)アイ									B(3)アイ			D(2)アイ																	
	学習内容	技術分野のガイダンス			情報の技術の原理・法則と仕組み						生物育成の技術の原理・法則と仕組み						生物育成の技術による問題解決									社会の発展と生物育成の技術			双方向性のあるコンテンツによる問題解決																	
		・技術分野の学習の見通し・学習内容の紹介			①情報の技術とは何だろう ②情報のデジタル化 ③情報通信ネットワークのしくみ ④安全に利用するための情報モラル ⑤安全に利用するための情報セキュリティ ⑥情報の技術の工夫を読み取ろう						①生物育成の技術とは何だろう ②作物の育成環境を調節する技術 ③作物の成長を管理する技術 ④生物育成の技術の工夫を読み取ろう						①問題を発見し、課題を設定しよう ②生物の育成計画を立てよう ③成長段階にあわせて適切に育成しよう ④問題解決の評価、改善・修正									①生物育成の技術の最適化 ②これからの生物育成の技術			①双方向性のあるコンテンツのプログラミングとは何だろう ②問題を発見し、課題を設定しよう ③コンテンツを構成しよう ④コンテンツのプログラムを制作しよう																	
第2学年	題材	A(1)アイ			A(2)アイ									A(3)アイ			D(3)アイ						C(1)アイ																							
	学習内容	材料と加工の技術の原理・法則と仕組み			材料と加工の技術による問題解決									社会の発展と材料と加工の技術			計測・制御のプログラミングによる問題解決						エネルギー変換の技術の原理・法則と仕組み																							
		①身の回りの材料と加工の技術 ②木材、金属、プラスチックの特性 ③材料に適した加工方法 ④丈夫な製品を作るために ⑤材料と加工の技術の工夫を読み取ろう			①問題を発見し、課題を設定しよう ②製作品を構想し、設計しよう ③製作の計画を立てよう ④作業手順を考えて制作しよう ⑤問題解決の評価、改善・修正									①材料と加工の技術の最適化 ②これからの材料と加工の技術			①計測・制御システムとは何だろう ②問題を発見し、課題を設定しよう ③計測・制御システムを構想しよう ④計測・制御システムのプログラムを制作しよう ⑤問題解決の評価、改善・修正						①エネルギー変換の技術とは何だろう ②発電のしくみと特徴 ③電気を供給するしくみ ④電気回路について考えよう ⑤電気機器を安全に使用するための技術 ⑥エネルギー変換の技術の工夫を読み取ろう																							
第3学年	題材	C(2)アイ									C(3)アイ			学習のまとめ			年間指導計画立案のポイント																													
	学習内容	エネルギー変換の技術による問題解決									社会の発展とエネルギー変換の技術			・3年間の学習のまとめ			<table border="1"> <thead> <tr> <th>内容</th> <th>配当時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ガイダンス</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>材料と加工</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>生物育成</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>エネルギー変換</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>情報</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>まとめ・統合的</td> <td>1.5</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>87.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>①「技術における問題の解決」の設定時間を、学習評価参考資料で例示された時間で可能な限り近づけた。 ②小学校での栽培経験とのつながりや違いを考えさせるため、また「いのち」に触れさせたりかんがえさせたいため、1学年で生物育成の技術に取り組む。 ③情報の技術は1・2学年に分けた。1学年では基礎的な知識を学びながら出身小学校ごとの情報モラル学習の状況をつかみ、3年間を見越した指導につなげられるようにした。様々な知見がより広がってくる2学年で計測・制御システムのプログラミングに取り組ませる。 ④材料と加工の技術は多くなりがちなので問題解決学習の時間を圧縮した。 ⑤エネルギー変換の技術は社会や理科とのつながりを意識し、既習事項を生かすために2学年3学期からの取り組みとした。</p> <p>本校赴任1年目であるため今年度1学年からの計画である。生徒の実情や授業実施状況を見ながら多少の時間変動も考えている(今年度2・3学年はこれまでの計画と実施状況を原則的に踏まえる)。</p>															内容	配当時間	ガイダンス	2	材料と加工	20	生物育成	18	エネルギー変換	21	情報	25	まとめ・統合的	1.5	計
内容	配当時間																																													
ガイダンス	2																																													
材料と加工	20																																													
生物育成	18																																													
エネルギー変換	21																																													
情報	25																																													
まとめ・統合的	1.5																																													
計	87.5																																													